

目的を掲ぐるの主義は未だ曾て山縣様及び其後継者が之を採用したるが如く良好に即ち運轉的に採用されたるものとあるなし日本は戦術に之を採用し又取柄に採用して敵の形勢と意向とに應じ常に其計畫を變更するを得るの力を保つて置けり又果して此秘策を教授したるや或は將た日本自らの發展に出でたるものなるや我等は頗る之を知らんものと欲するものなり此策清人を懼れしめたるが如くは充分の備えを備へしめたるは既に明白なりとす之に依りて清人を併に露人を併に共ニ萬事を保護し遂に各方面に其薄弱を來さざるべからざるに至らしめたり是れ我等が戦術を以て「技術」なりと云はんを欲する一の理由なりとす我等は此策を呼んで假て山縣式と爲さんとす日本が此山縣式に依りて取柄に既に其有利の地位を占めたりとするも旅順口尙ほ防衛しクロバトキン未だ撃破せられざる間は露國に取りて何物の遂に其危險に陥りたるものありと爲すべからず

千八百九十四年は於て旅順口は一萬の精兵之を防禦し其永久性防禦物には二十棚知乃至二十四棚知のクルツ砲三百三十門を備へたるに關せず唯だ一日の暇間に依りて陥落せり此防禦に對して日本は攻城砲三十六門れ及び野砲六十四門を用ひ其西北面より之を攻撃し魏子窩上陸後廿九箇日に於て早く之を略せり守備隊、備砲及防禦物今日皆當時よりも頗る強大なり攻城砲の擲放されて其選擧したる攻撃地點に對し砲火の優勢を獲得するに至るまでは之が要塞の處置當時の如く輕快に行はるべきを期すべからず

クロバトキンに斯く多數の網索を把握するを得るに至らしむるは日本に取りて果して賢明なる策なりしや否や將來に至りて是れられざるべからず露國は露國本部のナツハリツヒアンビエールアツをして西歐諸國の恐怖物たりしめたる其同じ原則に依り組織せられたる歐美諸國の情勢を必ず其諸將に常に奉天本部隊は進むべき時至らば必ず直に進むべきなり露國側に續々援軍の到達するは即ち之に決戦を試みんとするの意あるを示すものにして之が來援自ら大山元帥を喜ばしむべきものにあらざるべきも尙ほ元帥は之に聊も驕がざるものなるが如し

○タイムスの日露

戦争批評 (六十三)

タイムスの軍事投資家が其六月十六日の紙上に論じたる所左の如し

浦鹽斯德艦隊の盲動

浦鹽斯德艦隊の朝鮮海峡に出現したるは大に英國人の遊戯心を動すに足るものあり英國人は其何人の行爲たるに關せず常に他人の勇氣膽力を承認するに吝ならずものなり日本より出でたる片々たる私報に依り判じ得る限りに依ればグロムホイ、ロニア、ルーツクなるべしと思はるゝ三隻の巡洋艦十四日午後同海峡に現はれ同日夜より十五日に亘り日本本國海面の眞ツ中央に於て縦に其出入船舶を處分し得たるが如し此滯泊中に於て右の巡洋艦は果して如何ばかりの損害を加へ得たるや尙知るべからずと雖も思ふに必ず其著大なるものありしならん若干の運送船あるひは之が爲めに捕獲されたるものあるべし遂には此大膽なる提督をして必ずや強ひて其事實を語りしめらるゝに至るものとならん一電報に從へば十五日午後於て日本軍艦隊と會戦しとなりと云ふ但し其結果に至りては未だ何等の報に接せず

得利寺の戰

その間に於て去る十四日瓦房溝の戦闘に關する其効果重要な度にて世上に行はるゝ疑感日本よりの戦更になきが爲め未だ聊も薄らぎたるものと五月三十日明にサムソンの島蘇里コサツク旅團なりと思はるゝ露國の騎兵隊瓦房溝に於て各兵種より成る日本軍隊と會戦し遂に退却せざるべからざるに至りしものとあるは今に於て即ち自ら之を回想せざるべからず其頃よりして日本軍隊青泥館の近傍に上陸し魏子窩に上陸し大孤山に上陸したりとの報頻々として至りインザアッド(露國の陸軍機關新聞)は又第五、第十一の兩日本師團遼東半島の岸上にあるを確言せり瓦房溝の戦闘後日本兵は一たび退却したるもの如く同時に露國側より男爵スタツケルベルグ中將の率ある一萬乃至一萬四千の兵艦平より南進したりとの風説あり十日に至り我等は露國側より日本兵大沙河平原アダムス港より貴家屯に至り十哩間の前面に集中され之と共に日本海軍彈制の爲めか又は切迫せる行動の準備を行はんが爲めか半島の西海岸に其活動を初めたりとの報に接せり

露國側に於て攻勢を取りたる場合は今回の戦闘開かれてより其例頗る乏し從つてスクリッドルフ提督の遊戯は自ら其功績以上に賞揚されんとするの狀あり然れども此遊戯が戦局の進歩又は勝敗の決に何等の影響を與ふるものにあらずして商船數隻の捕獲を以て露國が有する其最良の軍艦三隻を賭するに堪へたるものにあらざるは明白なり

然るに關せず此勇敢なる提督は其大膽にして且つ冒險なる行動に對して自ら世の同情を受くべく若し一たび敵の追躰を退れて其根柢に歸還するものと得ば之に依りて提督が其節を軍務に大に士氣を鼓舞するものと得同時に過去の災害は露國皇帝の海軍その責任者たるにあらずして他國の責任者の犠牲に落ちたるものなるの責を露國に證明すると共に亦之を世界に證明するものと得べけん

その間に於て去る十四日瓦房溝の戦闘に關する其効果重要な度にて世上に行はるゝ疑感日本よりの戦更になきが爲め未だ聊も薄らぎたるものと五月三十日明にサムソンの島蘇里コサツク旅團なりと思はるゝ露國の騎兵隊瓦房溝に於て各兵種より成る日本軍隊と會戦し遂に退却せざるべからざるに至りしものとあるは今に於て即ち自ら之を回想せざるべからず其頃よりして日本軍隊青泥館の近傍に上陸し魏子窩に上陸し大孤山に上陸したりとの報頻々として至りインザアッド(露國の陸軍機關新聞)は又第五、第十一の兩日本師團遼東半島の岸上にあるを確言せり瓦房溝の戦闘後日本兵は一たび退却したるもの如く同時に露國側より男爵スタツケルベルグ中將の率ある一萬乃至一萬四千の兵艦平より南進したりとの風説あり十日に至り我等は露國側より日本兵大沙河平原アダムス港より貴家屯に至り十哩間の前面に集中され之と共に日本海軍彈制の爲めか又は切迫せる行動の準備を行はんが爲めか半島の西海岸に其活動を初めたりとの報に接せり

六月十一日夜瓦房店の南露國陣地の近傍に於て小衝突あり越えて十三日更に報告あり曰く日本軍北方に向け行進中にして之が二箇師團の存在既に偵知する内一箇師團は大沙河に沿ひ行進し居れり斯の如くにして露軍は瓦房溝停車場の南六哩の陣地に退却したるものゝ如く十四日即ち此地に於て日本軍の攻撃を受けたり此戦闘に關する露國側の報は男爵スタツケルベルグ將軍より達せり將軍は名義上西比利亞第一軍團の司令官たるものなり將軍自ら此戦場にありたりとは我等之を想像するのみ能はずと雖も而も亦之が必無を期すべからず報告の示す所に據れば戦闘は正午露國陣地

の「周囲」に於て始まらざりしを以て諸將軍の稱する所は軍隊みな其攻勢を強めて何れも其陣地を維持したりと云ふ日本の損害に於ては何等云ふ所あるを見ず第一聯隊長ケルンゴロウツス將軍は露軍の左翼にあり苦戦の末負傷したるものにして將軍の言に據り察すれば東部西比利亞狙撃第一師團の少くも二箇聯隊その師團長の下に戰場にありたるものゝ如し此師團の第三、第四兩聯隊は即ち旅順口にありたるものなり

軍隊と全然別箇のものなるを與將軍其の第二軍を率ゐて尙ほ旅順口の附近にありや或は別報の稱するが如く將軍北進して旅順口攻撃の任は之を共同隊に譲りたるや其は現下に於て之を表明すべき何等の事實あるを發見するも

能はず
此方面よりして日本軍の北進は即ち岫巖に於ける軍隊との其聯絡を断せんとするものにして一度その聯絡の通せらるゝやクロバトキン

○タイムスの日露戦争批評 (六十四)

タイムスの軍事記者が其六月二十四日の紙上に論じたる所左の如し

浦鹽斯德艦隊追撃 (五)
浦鹽斯德艦隊の逃走及び追撃は即ち海上に於ける海軍の贊否に關する大問題を生ぜしむるに足るものにして海軍の注意を動するものと自ら頗る大なるものなりとす

三巡洋艦中トリツクは思ふに其速力最も遅緩にして其勢力最も劣れるものならん艦隊は常に其歩調を共にせざるべからざるものなるを以て之が速力は從つて其最も遅緩なるものに局限されざるべからず然れども此等巡洋艦は昔て長く静止し且つ其根據地には良好なる

船渠を有したるを以て自ら巡航、戦闘、充分の準備を整へ海上に發したるものならざるべからず依りてトリツクと雖も尙ほ十五哩の速續航洋速力を有する者なりと見る必ずしも不當ならざるべし朝鮮海峡出發後此巡洋艦隊が取りたる航程よりして之を察するに其十一哩半の平均速力を以て汽走したる者なるは略ぼ之を測知するを得べし又事情通より聞く所に據れば此艦隊は浦鹽斯德を發したる後先づ東方に航し次で南方に轉じたりと云ふを以て露國司令官必すベゾプランツンなるべしと六月十一日夕に當り其港灣を發したる者なるが如し之より三日間最も經濟なる速力にて其針路を進み來らば露國司令官は即ち十四日夕に於て對馬の近傍に達せざるべからず其夜間を同島沖に送下しノ關海峡の門口門司を距ると四十哩の海面に現れ其存留を許したる限りの時間内に於て其方の及得べき一切の損害を加へて最後去就を海灘にありとの報の傳へられたるは即ち十五日の午後四時頃なりと上村提督は此時刻の間をもく何事をも爲し居たるや我等は斷然斯くなるべしと之を聞知するにあらざると雖も斯くなるべきが如くに告知するに所に據れば提督は十五日午前九時三十分を以て其追撃の途に發したりと云ふ尙ほ他の筋より聞

く所に據れば數隻の日本軍艦同日露艦を追撃せんとして佐世保を出發したりと云へり其正否は固より判すべからずと雖も右の二報より我等の推考する所は即ち露艦來襲の報達せし時上村は佐世保にありたりと云ふにあり露國艦隊の彼の如く久しく玄海灘に止まり居たるは頗る其危険を冒したるものなりと云はざるべからず日本の準備にして若し形勢の必要とする所と能く其平衡を保ちたりしならんには露國巡洋艦は縦しや日本の水雷艇又は軍艦に依りて攻撃されざりし迄も十五日午後より其夜に至る間に於て必ず追尾され且つ有力に監視されたりと云ふべからざるなり

内、外、海、陸、空、海軍、陸軍、航空、海軍、陸軍、航空